

## 地球温暖化防止のための地域協働に関する研究 (2) ～環境活動と防災活動への取組～

### A study on the regional cooperation for solving the global warming problem (2) ～Approach to environment conservation and disaster prevention～

岡村 聖・辰巳欽哉\*

OKAMURA Kiyoshi, TATSUMI Kinya\*

\*尾張旭市旭台地球温暖化対策地域協議会, Owariasahi-city Global warming Countermeasures Association, Owariasahi 488-0076, Japan

**Abstract:** As part of activities to promote the town development on community associations of Owariasahi city, we have taken actions for environment conservation and disaster prevention. In the first case, we held environmental training of balloon experiment of CO<sub>2</sub> density measurement for sixty elementary school kids in Asahidai community association. In the second case, we compiled and distributed two thousand of booklets on people who require assistance from neighborhoods if we meets Tokai earthquake. Next we held disaster prevention forum for communities.

**Keywords:** Global Warming Solution, Community association, Regional cooperation

#### 1. はじめに

尾張旭市旭台地球温暖化対策地域協議会<sup>1)</sup>は、旭台自治会環境部会の「対外関連者との協働組織」として2005年度に設置された。「住民・自治体・関連業者・学校関係者」などが連携・協働し、「環境負荷の少ない町づくり」と「ふれあい・いきいき・安心・安全な地域づくり」への実践を通じて、尾張旭市の目指す「健康都市づくり」に貢献することを目的とした組織である(岡村と辰巳, 2009)。

事業の推進に当たっては、事業部会を設け広く公開して、市内の専門家など参加者・運営委員を募り、

- ① 地球環境や生活環境面で「人にやさしい町づくり」を狙いにCO<sub>2</sub>排出抑制などの省エネ・省資源生活の推進に関すること(家庭における省エネ活動、公共施設などにおける省エネ活動、地球温暖化防止に係る普及・啓発)
- ② ふれあい、地域安全、高齢者等の生活弱者支援に関する事項の推進(高齢者の地域生活や安全に関する指導・支援、地域環境改善の取組(公園整備・環境維持管理等)、東海地震などの地域環境安全や高齢者支援活動)

を行う。

本年度は特に環境をテーマとして小学生対象の環境研修に、防災をテーマとしてパンフレットの作成及び尾張旭市全域からの参加者による地域防災フォーラムの開催に、それぞれ注力した。本稿では、これらの活動を報告すると共に、次年度の活動の方向性を示す。

#### 2. 環境活動

##### 2.1. 子どもの思い出づくり事業

旭台のまちづくり活動の拠点である集会所は併設

された第2公園の改修工事が終わり、毎日子どもの声が聞こえる遊び場所の側面も強くなった。一方、静かな生活が一変した感じる公園周辺の住民も現れた。

また、旭台地域は、初期の入居者が高齢化すると共に孫の世代が小中高生になる状況となった。高齢者に敬意を表することや「まちづくり」の計画や活動に子ども達の意見も取り入れることが重要である。これを踏まえて、第2公園を「ふれあいや防災などの拠点」にすると共に、尾張旭市の「ウォーキングマップ」に示された「桜」の保存をはじめとした地域環境への役立ちなどを考える活動を進めるに至った。

以上の経緯から、本年度はまちづくり活動の拠点を全住民が納得性高く利用していくための活動として、尾張旭市の自治会活動促進助成を受け、団地造成後40周年の節目を記念した「子どもの思い出作り事業」を実施した(表1)。

##### 2.2. 小学生を対象とした環境研修

子どもの思い出作り事業の第一弾として、子ども一泊体験交流会を行った。交流会は

- ① 高齢者との健康体操交流
- ② 子ども環境研修  
(ア) CO<sub>2</sub>を知ろう(名古屋産業大学)  
(イ) 雨水の利用(NPO雨水の会)  
(ウ) 古紙とペットボトル(尾張旭市環境課)
- ③ 子ども防犯パトロール(愛知県警)
- ④ 第2公園および集会所でのミニキャンプ

で構成された。

ここでは、筆者らが担当した環境研修「CO<sub>2</sub>を知ろう」についてを報告する。

表1 子どもの思い出づくり事業 (2009年度)

活動期間	活動内容
7/23~24	子ども一泊体験交流会及び環境研修等各種イベント
8/1~2	盆踊り等各種イベント
8月中	子どもによる会報あさひだい通信の編集活動
9/6	会報あさひだい通信の発行と展示

筆者らが担当した環境研修では、気球によるCO<sub>2</sub>濃度測定実験が実施され、小学生59人が参加した。参加者は、測定器に息を吹きかけてCO<sub>2</sub>の存在を実感したり、地上と上空60mのCO<sub>2</sub>濃度の違いを実験により確かめたりしながら、CO<sub>2</sub>はどのような場所から発生するのかを自身らで意見を出し合い考えた。そして、自分たちで出来る最も有効なCO<sub>2</sub>排出削減行動は電気の節約であることを理解した。最後にヘリウムガスによる変声実験を行い、楽しく実験を終えた。

また、研修に参加した6年生には卒業時期に名古屋産業大学教育支援センター発行の修了証を授与した(図1)。6年生からは、とても楽しくまた実感を持って学ぶ機会であったことや、修了証という形に残る記念が大変うれしいとの感想が述べられた。



図1 環境研修の終了証

## 2.3. 活動の継続に向けて

この気球によるCO<sub>2</sub>濃度測定実験については、中日新聞なごや東版に掲載され<sup>3)</sup>、他地域の子ども会、PTAも含め多くの問い合わせや再開希望を頂いた。次年度は尾張旭市の市子連・PTA・子ども会等から多くの参加を求め、NPO的市民活動としての「子ども交流会」を展開する予定である。

## 3. 防災活動

### 3.1. 防災パンフレットの作成

旭台自治会は2008年から災害時に手助けが必要な要援護者(高齢者や障害者など)の情報を集め、住民たちで助け合う体制作りに取り組んでいる。筆者らは名古屋産業大学教育支援センター地域連携ワーキンググループの活動の一環として、これらの地域防災の取り組みをまとめたパンフレットを作成した。自宅に掲示して知識を深めてもらったり、災害前対策の勉強会に利用してもらったりするために、二千部を準備し、地域や希望者に無料配布を行った。この取り組みについては、中日新聞なごや東版に掲載され<sup>4)</sup>、問い合わせが多数寄せられるなど、大きな反響があった。

### 3.2. 地域防災フォーラム

先の防災パンフレットの反響を受け、筆者らは、地域の防災対策を考える「地域防災フォーラム」の開催を企画した。そして、旭台自治会が主体となり、尾張旭防災リーダー会、尾張旭市民生委員児童委員協議会、尾張旭市旭台地球温暖化対策地域協議会が協働する実行委員会を立ち上げ、尾張旭市と名古屋産業大学教育支援センターの後援を受け、3月14日に地域防災フォーラムを開催した。開催に先駆けて、尾張旭市民に全戸配布される広報おわりあさひに防災特集記事及びフォーラム案内が掲載され<sup>5)</sup>、フォーラムには128名の参加者があった。フォーラムの内容は以下の通りであった。

- ① 開催挨拶(フォーラム事務局長)
- ② 来賓挨拶(尾張旭市長、名古屋産業大学学長)
- ③ 基調講演: 防災街づくりと地域への期待(愛知県建設部主幹)  
要旨: 家屋倒壊による死者が八割を超えた阪神淡路大震災の例を元に「地域、行政、建築専門家が連携して、いかに住宅耐震化や家具の転倒対策、助け出しの仕組みづくりを行っていくかが重要である。
- ④ 防災活動事例発表
  - (ア) 映像で知る・考える地震災害(前旭丘連合自治会長)(図2に抜粋)
  - (イ) 災害時要援護者支援(旭台自治会防災部会)(図3に抜粋)
  - (ウ) 災害前対策家具転倒防止(尾張旭防災リーダー会)(図4に抜粋)
- ⑤ 閉会挨拶(名古屋産業大学教育支援センター長)

## 防災活動での“連合自治会”の役割

いままで

- 行政からの通達事項の連絡
  - ・市防災訓練、防災行政無線、街頭消火器、住宅用火災警報器
- 自主防災活動
  - ・地域安全マップ、街頭消火器マップ、災害時要援護者調査、避難所体験訓練
- 各地区防災訓練支援



これから

- 行政、地域、関係団体との連携を強化する活動。
  - ・市役所、他連合自治会、防災リーダー会、民生児童委員、シニアクラブなど
- 有用情報の収集と活用。
  - ・先進活動事例の紹介、防災研修会への参加
- 地域の高齢化への対応。
  - ・災害時要援護者支援のシステムづくり
- 地域住民への防災啓発手段の拡大。
  - ・地域防災フォーラム開催、市広報誌の活用など

図2 防災活動での連合自治会の役割

## 旭台自治会活動のキー「できること」参加！

＜“防災まちづくりアドバイザー”受講を、事例にして考える＞

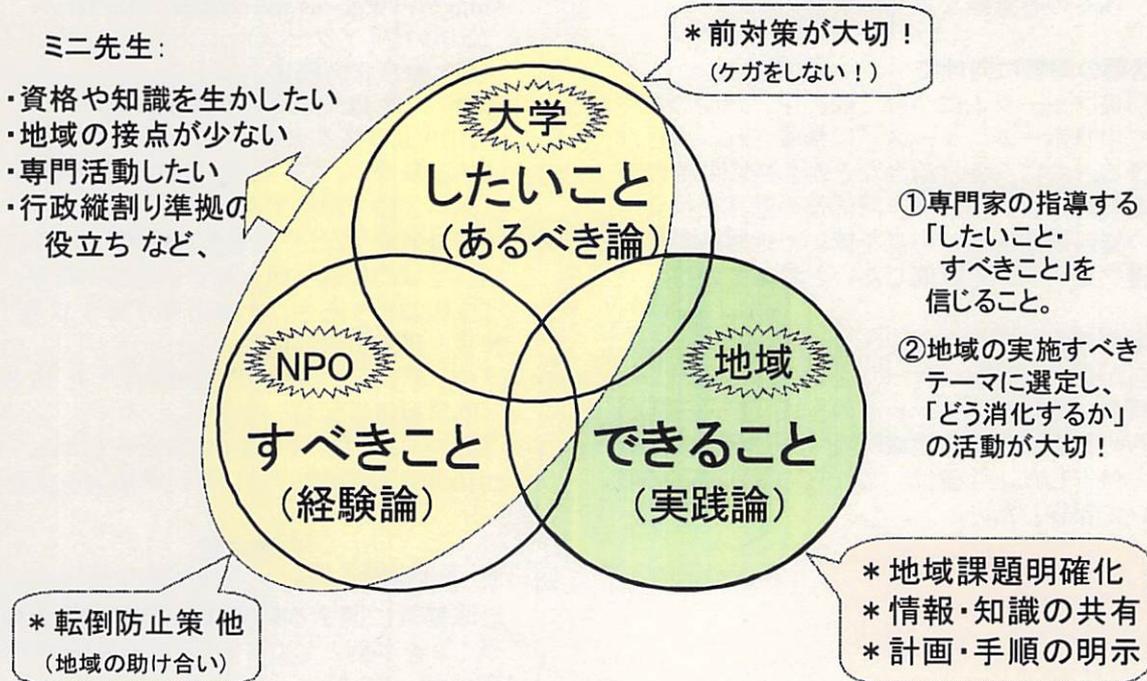


図3 旭台防災活動のポイント



かんぬき棒による「飛出し防止」対策



本棚の例

「食器の飛出し」・「家具の転倒防止」作業の例

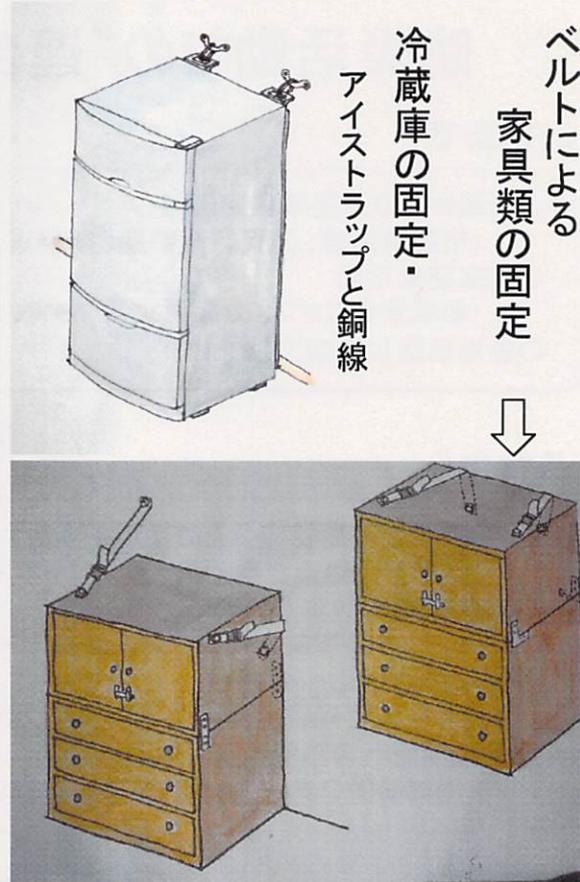


図4 食器の飛出しと家具転倒の防止作業事例

参加者からは「地域の取り組みを心強く思うと共に、お世話になるだけでなくできることで協力したい」等、多くの有意義な意見が寄せられた。

### 3.3. 活動の継続に向けて

地域防災フォーラムについては、中日新聞なごや東版<sup>6)</sup>や中日ホームニュース<sup>7)</sup>に掲載され、大きな反響を得ると共に、各自治会などから継続開催の要望が寄せられた。次年度は、開催迄の意見交換会や開催後の資料公開活用に力点を置いた地震防災要援護者支援フォーラムを開催したいと考えている。

### 4. おわりに

筆者らが企画・実践を行った小学生を対象とした環境研修や、防災パンフレットの作成及び尾張旭市全域からの参加者による地域防災フォーラムの開催について報告した。今後は、これらの取り組みの展開について報告したい。

### 補注

- 1) 「尾張旭市旭台地球温暖化対策地域協議会」2005年度環境省に協議会登録(第00092号)  
<<http://www.gc-net.jp/ecoasapi/index.html>>  
(2010/3/29 アクセス)
- 2) 「CO<sub>2</sub>濃度常時測定ネットワークシステム」  
<<http://211.125.168.199/CO2/top.asp>>  
(2010/3/29 アクセス)
- 3) 『中日新聞 なごや東版』2009年7月24日朝刊「気球実験で環境学ぶ」
- 4) 『中日新聞 なごや東版』2009年12月12日朝刊「地域防災取り組み旭台自治会が冊子」
- 5) 『広報おわりあさひ』2010年3月1日号「防災特集 地震が来る前に」
- 6) 『中日新聞 なごや東版』2010年3月16日朝刊「防災対策は官民一体で」
- 7) 『瀬戸 尾張旭 長久手 中日ホームニュース』2010年3月26日「助け合いで被害を少なく」

### 参考文献

岡村聖、辰巳欽哉(2009)「地球温暖化防止のための地域協働に関する研究(1)～旭台自治会のまちづくりを事例として～」『環境経営研究所年報』第8号 pp.68-71.